

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 石狩後志)

- ①コールサイン : JE8PHS  
②氏名(フリガナ) : マエノ ヒロノブ 前 鼻 弘 靖  
③年齢 : 58歳  
④職業 : 公益社団法人事務職員  
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

北海道地方本部、石狩後志支部事業やコンテストへの参加

石狩後志支部大会の参加者は、まだまだ増えてもいいはず。皆さん参加しませんか?!?

北海道ハムフェア実行委員会への参加(第1回、7回、8回。次回も断られない限り参加します)

職域等でのアマチュア無線技士資格取得啓蒙(防災訓練等での活動紹介と啓蒙)

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

「JARLにできる貢献」は「主たる財源の会費確保に協力」「組織の活性化に寄与する」以外何かあるでしょうか?それを踏まえて考えを記載します。

美辞麗句など書けないので、乱暴な記述はご容赦願います。

1. ニューカマーの入会促進と、それを阻害する要因の是正

新しい人が入ってきて、会社と同じで「求めている知識や経験の押し付け」「俺が正しい」という態度は当然ですが嫌われ、反発を招き、最終的に組織の評価を下げます。  
結論: 買いたくない商品は売りつけるな。「俺が正しい」態度は即改めよ(世間の悪評)

2. 財政悪化の原因の是正

特に連盟ホームページで公開されている報告書記載の「連盟私物化」による数百万の欠損

・我々が支払う会費は、法律で言う「法人運営経費」であり、一部個人の飲食に費やされるお金ではない。この行為は言語道断で、到底許されるものではありません。

結論: 連盟には、この不正に関する刑事訴追を極めて速やかに進めるよう、強く求める  
末端会員をなめるな!!(当該元理事は「退任」ではなく「解任」である)

3. 一般社団法人としての運営の正常化

この連盟は、アマチュア無線を楽しむ者で構成されているが、運営まで「アマチュア」であって良いはずがない。理事の職務精励は、法律でも明確に規定されている

結論: コンプライアンスとか運営透明化という言葉を用いるなら、まず議長と議事録署名人の署名押印がある理事会議事録を公開することを強く求める(拒否する根拠はないはず)

4. 役員定年制

組織硬直や不正温床を排除するため、30代~50代の役員候補育成を早急に進めるよう強く求める(「なり手がいない」は、育てなかった者の言い訳でしかない)

結論: 今後3年以内の後継者育成計画を明確に定めるよう、理事会、地方本部に求める

5. QSL転送

体験運用会場で子どもたちが「カードをもらえるのがかっこいい」という言葉を何度も聞いています。憧れを持ってくる子供に「1年経たないと届かない」などと言えますか?

結論: カード転送所要時間は遅くとも6か月以内とするよう、委託業者との契約締結を強く求める。(前業者のことはどうでも良く、これから改善すれば良い)

会員各自の声が届かないような組織は組織ではない! 現状打破には皆さんの協力が不可欠です

## 令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(北海道)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 石狩後志 )

- ①コールサイン : J E 8 K Q R  
②氏名(フリガナ) : 大 國 秀 夫 ( オオクニ ヒデオ )  
③年齢 : 5 5 歳  
④職業 : 保険代理店 勤務  
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

#### 力を入れている無線活動

- ・自宅からは18MHz～50MHzを中心にデジタルモードの運用 (FT8・FT4)
- ・石狩市の設備からはコンテストを中心に14MHz～1200MHzを運用
- ・今年はCWを楽しもうと勉強中
- ・小樽アマチュア無線クラブ 所属
- ・JR8VT レピータ団体 所属

#### JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

次の世代にバトンを渡すため JARLを正常化させるお手伝いをしたい

#### 【現状の確認】

- ・正会員数 48913名 (1970年前後の正会員数に近似)  
→1970年代と現在では年齢構成比が全く違う(20歳代→60歳代)
- ・平成6年以降 連続した赤字決算  
→過去の積立金を切り崩している現状
- ・QSL転送がJARLの主な役割だと認識されていないか?  
→JARLの役割はアマチュア無線の利益団体である事への活動不足



- ・会員数に見合った組織運営
- ・赤字要因の検証と対策
- ・利益団体としての活動と関係団体・組織との積極的な連携
- ・執行部が目線と意識を合わせた運営

## 令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(北海道)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 石狩後志支部 )

- ①コールサイン : JF8EPR  
②氏名(フリガナ) : 中島 潤  
③年齢 : 55歳  
④職業 : 大学教授  
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

#### 力を入れている無線活動

★JARL北海道地方本部・幹事としての活動(地方本部主催コンテストの運営、北海道ハムフェアや北海道アマチュア無線セミナーの企画・運営)

★無線機・アンテナ・周辺機器の自作、各種無線用ソフトウェアの開発

★最近は主にデジタルモードによる交信を中心に楽しんでおります

#### JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私がこの度立候補させていただいたのは、アマチュア無線の普及と発展に貢献したいという強い思いからです。特に、若い世代へのアピールに注力したいと考えています。アマチュア無線人口の減少が課題となっていますが、SNSやデジタルメディアを活用した情報発信により、無線の魅力を若年層に伝えることができます。学校での出張講座やイベント開催を通じ、次世代の愛好家を育成することが重要です。次に、技術力の向上支援です。講習会やセミナーの充実により、会員の技術スキルを高め、より安全で効果的な運用を推進します。また、地域コミュニティの活性化にも貢献したいです。各地の支部活動を支援し、会員同士の交流を深め、強固なネットワークを構築することで、連盟全体の結束力を高められると確信しています。さらに、災害時の非常通信体制の充実も重要な役割です。社会的信頼を得るために、防災訓練への積極的な参加と体制整備を推進します。

これらの施策を通じ、アマチュア無線文化の継承と発展に全力で取り組む所存です。

## 令和8年通常選挙 地方本部区域毎の社員(北海道)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 渡島檜山 )

- ①コールサイン : JL8LGW  
②氏名(フリガナ) : 船水 明 (フナミズ アキラ)  
③年齢 : 54歳  
④職業 : 会社員  
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動 ★日常的にハンディトランシーバーを携行し外出先からの運用。

- ・通勤時の『駅前QRV』『駅までQRV』、観光地「函館」来訪者のCQへの応答
- ・タワーの無い自宅からのDXCCやPOTA追っかけ運用、VUHFでは、APRS、C4FMモードでの運用。
- ・青森県支部と共催となっている「津軽海峡コンテスト」への上位入賞と支部対抗勝利を目指しての参加
- ・全国各地の無線仲間とのアイボール、Zoomなどを使った定期的なオンラインアイボール会への参加
- ・VUHFでアクティブな局による懇親会の企画(年1回程度)
- ・所属するKCJ【全国CW同好会】において、北海道ハムフェアへの出展等を担当(8エリア地区担当役員)

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

### ◇次の世代に託せる組織とするための活動を推進します！◇

JARLは、『無線を続けるための環境を守り、仲間とつながるための基盤を提供する組織』として、より力を発揮して行く必要があります。電波(周波数)の需要が大きくなっている今こそ、日本のアマチュア無線を代表する団体として、アマチュア無線を楽しむすべての人にとって重要な組織です。しっかりとアマチュア無線の環境を守り、さらに拡充させていく組織であることを望みます。

#### 1. 次世代へ「負の遺産」を残さない健全経営

10代、20代の若い世代がこの先もアマチュア無線を楽しむことができる環境を維持するため、この先もJARL存続のため、徹底した経費削減と事業の見直しを行い、次世代に「負の遺産」を決して残さない、クリーンで健全なJARL運営を追求します。

#### 2. 若い力が主役になれる「組織の若返り」

若手の活躍を「言葉」だけで終わらせず、各種委員会や支部・地方本部役員への登用を積極的に進め、先輩の経験を継承しつつ、若い世代の意見を反映し、参加しやすい環境を推進します。

#### 3. 民意を反映する選挙制度の見直し

昨年社員総会にて一部の“支部長社員”の反対により、先送りされた「選挙制度改革」に賛成します。定数の是正、社員と支部長の分離、さらには全国選出社員の創設、若年世代社員枠の創設などの改正が必要と考えます。

#### 4. 北海道8支部体制についての見直し

札幌圏を含む石狩後志支部を除く、7支部では会員数の減少に伴い支部運営体制の維持にも苦勞されていると聞きます。このままでは10年以内に運営不可となる支部も出てくると思われるため、早急に本格的な検討が必要と考えます。



JL8LGWの業務日誌



X @JL8LGW